

講義科目名称： 総合科目

授業コード： 1650400600

英文科目名称： Integrated Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	必修
担当教員			
神田清子、石田和子、◎伊豆上智子、中村洋心、山内豊明			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期 【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <table border="0"> <tr> <td>【氏名】</td> <td>【研究室】</td> <td>【メールアドレス】</td> </tr> <tr> <td>神田 清子</td> <td>319</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石田 和子</td> <td>317</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎伊豆上 智子</td> <td>313</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中村 洋心</td> <td colspan="2">新潟県福祉保健部長（客員教授）</td> </tr> <tr> <td>山内 豊明</td> <td colspan="2">放送大学（客員教授）</td> </tr> </table> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 ○ ◎</p>	【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】	神田 清子	319		石田 和子	317		◎伊豆上 智子	313		中村 洋心	新潟県福祉保健部長（客員教授）		山内 豊明	放送大学（客員教授）	
【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】																	
神田 清子	319																		
石田 和子	317																		
◎伊豆上 智子	313																		
中村 洋心	新潟県福祉保健部長（客員教授）																		
山内 豊明	放送大学（客員教授）																		

到達目標	<p>1. 看護学教育の変遷や専門性の高い看護職の活動例を学び、看護の専門性を再考することができる。</p> <p>2. 社会活動と看護職について理解を深め、キャリアプランを作成して自らの将来を構想できる。</p>
------	---

授業概要	看護学教育やキャリア、専門性を発揮する看護職、社会活動と看護を中心に、各分野の専門家による講義を通じてこれまでの学びを総括する機会とする。看護学を学んだ職業人や社会人として地域や社会に貢献する視点から卒業後の自らの将来やキャリア形成を考える。
------	---

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：社会と看護(1) 学習内容：近未来の社会と看護、キャリアの考え方 備考：伊豆上</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：社会経済環境と看護 学習内容：看護の生産性、看護師の労働力 備考：伊豆上</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護の専門性と業務拡大 学習内容：看護の専門性の発揮、チーム医療や多職種間協働の将来 備考：石田</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護職のキャリア開発 学習内容： 備考：中村</p> <p>5 授業内容 授業形態：別途指示 学習課題：社会と看護(2) 学習内容：別途指示する課題の学修、キャリアプランの作成 備考：伊豆上</p> <p>6・7 授業内容 授業形態：対面 学習課題：フィジカルアセスメント 学習内容： 備考：山内</p> <p>8 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護学教育の歴史と展望 学習内容：看護師養成の歴史、大学における看護学教育</p>
------	---

備考：神田	
事前・事後学習	事前学習：学習内容を確認し、十分な準備をもって授業に臨むこと 事後学習：各授業で扱った内容や関心を持った事項について、文献等を用いて学びを深めること
評価方法、評価基準	リアクションペーパー（40%）と課題レポート（60%）により評価する。 ・リアクションペーパー：各回の授業終了時に提出する。締切後の提出は受け付けない。 ・課題レポート：課題と作成要領、提出期日（全講義終了後の指定日）は別途指示する。 全授業の3分の2以上に出席していない学生は評価しない。
必携図書	指定しない。
参考図書・資料等	必要に応じて適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	20分以上の遅刻および途中退席は欠席として扱う。
教員からのメッセージ	本学での学びを振り返って、自分と自分を取り巻く人々と社会の未来を考えましょう。
オフィスアワー	